

平成27年度第3回敦賀市総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成28年2月16日(火) 10:00～11:45
2. 場 所 市役所5階 第2委員会室
3. 出席者

	市 長	瀧 上 隆 信		
	教 育 長	上 野 弘	教育長職務代理者	神 谷 敬一郎
	委 員	徳 本 範 子	委 員	佐々木 與 栄
	委 員	岸 本 松 則		
事務局	事務局長	若 杉 実		
	教育政策課長	伊 原 彰	文化振興課長	山 本 寛 治
	生涯学習課長	畑 博 和	スポーツ振興課長	高 島 義 浩
	国体推進課長	土 手 雅 弘	秘書広報課長	織 田 一 宏
	教育政策課主幹	金 井 光 広	教育政策課長補佐	吉 田 聡
	教育政策課指導主事	北 川 佳 邦	教育政策課指導主事	江 戸 義 直
	教育政策課総務係長	熊 田 真 弓	教育政策課臨時	田 中 友

4. 内 容

(1) 開会

(2) 市長あいさつ

昨年12月に開催されて以来、今回で3回目の総合教育会議となります。前回までの会議で、委員の皆さまからはたくさんのご意見をいただきました。それらのご意見をふまえて、今回は教育に関する大綱(案)をご提示いたします。前回同様、委員の皆さまからは忌憚ないご意見をいただきますようお願い申し上げます。本日の会議で、教育に関する大綱の策定に向けた方向性を確定できればと思っております。その教育大綱のもと、新しい「地域・人」づくりの一步である、心豊かな青少年の育成と学力の向上に努めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(3) 協議事項

1 大綱の策定について

教育政策課長…今回は、各課・各施設等で掲示・案内できるような教育施策大綱(概要版)を新たにご提示させていただきました。学校教育の充実についてですが、前回までは「ふるさとの伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心で新たな活力を生み出す人材の育成」を施策の中に掲げておりましたが、これについては、学校教育だけではなく、教育委員会全体で考えていくべき事項であるとの考えから、基本理念として、『白砂青松』の地である敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となって、先人が築き上げた伝統を受け継ぎ、『人道

の港』敦賀ならではの魅力ある教育を推進する」と掲げました。

前回の会議で、目標とする数値を設定できないのかというご指摘をいただきましたので、大綱の施策の実施に向けて数値目標を設定し教育振興基本計画を進めてまいりたいと考えております。

生涯学習課長…社会教育を含む生涯学習の環境を充実させるとともに、現代社会や地域の抱える課題等についても社会全体で支え合う考え方を推進し、社会教育等の関係団体への支援など社会教育の充実を図ってまいりたいと考えています。またその役割を發揮するため、ハード・ソフトの両面が一体となった取り組みをしていきます。

(1) 活力ある地域社会の形成では、地域のつながりが希薄化し、同居の家族も減り核家族化しているなか、地域の活性化のためには、近所付き合いを発展させ地区から地域へと輪を広げる必要があると考えております。そこで、地域のつながりに重点を置き、地区公民館を中心として、地区団体等の自主的な活動を支援するとともに、地域の実情に応じた事業を企画・実施いたします。(2) 社会的な課題に対応した生涯学習の推進では、人々の興味が以前より広がり多種多様のものを求めていますので、社会情勢、地域の課題、住民の興味を把握し、それに応じた機会を設け、また高齢化が進む中、誰もが充実した生活を送ることができるよう、地域の高齢者学級や各種の自主学習教室等、自己研さんの意欲に応えるための環境を整えます。

(3) 社会教育施設の整備・充実では、建設から20年以上が経過している社会教育施設は7館あり、いずれも老朽化が進んでおり、施設の整備・補修が大きな課題ですが、今後計画的に施設の整備充実を図っていきます。また公民館等の社会教育施設では利用者の目線に立ち、充実を努めているところですが、今後も利用者のニーズに見合うよう他市も参考にしながら生涯学習の推進を図っていきます。(4) 地域等と連携した青少年の健全育成では、地域の子どもは親だけではなく、地域の大人が育てていく環境を整えていく必要があります。そのためにも敦賀市にある青少年健全育成団体への支援をしていくことが必要だと考えています。

今後も取り組むべき事業や課題等を勘案し、目標を上回る事が出来るよう努力していきたいと考えております。

文化振興課長…文化の振興・支援では文化意識の向上、市民文化の活動拠点の整備・充実、文化財の保護・支援、文化財の活用推進の4項目を掲げております。伝統芸能、伝統行事、伝統文化などポスター、チラシなどを用いPRし、集客を図ることにより地域が元気になる、また「学校や地域における歴史・文化財学習の支援に努める」方法を具体的に明記した方がよいのではというご意見をいただきました。これらのご意見をふまえ、伝統文化の継承という観点から、ふるさと敦賀に誇りと愛着を持つ敦賀っ子の育成に向け、文化団体とも連携して伝統文化に触れる機会を増やし、また伝統行事・伝統芸能等の広報強化という観点から、伝統行事を含めた文化財の広報

普及に努めたいと考えております。さらには、講師派遣や校外学習の受け入れ等の文化財教室をはじめとした学習機会の提供と、学校や地域における歴史・文化財学習の支援にも努めていきたいと考えております。

スポーツ振興課長…子ども達の体力・運動能力、運動習慣ですが、平成27年全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果によると、積極的に運動する子どもとそうでない子どもの二極化が顕著になっています。本市においては、平均1日1時間以上運動している小学校女子が全国平均を下回っております。また、ほとんど運動していない女子の割合が高くなっております。平成30年の国体開催に向け、子どもの高い基礎体力が県民スポーツの気運向上にもつながると期待されています。次に運動、スポーツの実施状況ですが、平成30年福井国体に向けたスポーツに関する県民意識調査では、運動・スポーツをする理由の多くは、健康・体力づくりのためで、スポーツによる健康増進に対する関心が高いことがうかがえます。地域におけるスポーツ振興に対する期待では、年齢層にあったスポーツの開発・普及が最も多い状況です。これらの事から時間や場所を工夫した個人の主体的な取り組みを推進するとともに、職場・地域・家庭において、それぞれのライフステージに応じたスポーツに取り組める環境を整備することが大切であると考えております。そこで、大綱の(1)国体開催を契機としたスポーツの振興ですが、本市においては競技スポーツや生涯スポーツをはじめとする様々なスポーツの振興に取り組んできましたが、国体の開催はこれまでの本市のスポーツ振興における取り組みを一層前進させる契機となるものと考えます。そのため、国体開催といった一過性のもので終わらせるのではなく、国体開催によって得られた成果や、知見等を大会後の本市のスポーツ振興に活かすことで、一層の振興を図っていききたいと考えています。次に(2)生きがいと健康づくりとしてのスポーツ振興では、今後高齢化が進行し、医療・介護需要の増大が予見される中、ますます健康寿命の延伸を目的とする高齢者の体力づくり、健康づくりを社会的な要請として重視する必要があることから、一層の生きがいづくり・健康づくりに取り組んでいきます。(3)人のつながりを再生するスポーツ交流の推進ですが、近年はスマートデバイス等の普及により、生活・学習習慣の乱れや依存症が増加し、心身のストレスや疲労を訴える者が増えています。スポーツは、体を動かすという欲求に応え、爽快感、達成感、連帯感等の精神的充足をもたらし、とりわけ青少年の心身の健全な発達に資するとともに、スポーツを通じた交流が地域の一体感を醸成し、地域社会に活力を与えます。また競技スポーツに打ち込む競技者の活躍は、多くの市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、スポーツへの関心を高めるなど、極めて重要な役割を果たします。そこで、年齢、性別、志向、障害の有無にかかわらず、生涯にわたりスポーツを楽しむことのできる環境を整えます。最後に(4)スポーツ施設の整備を掲げております。

岸本委員…学校教育の充実の中で、「生きる力」とありますが、次の段落でそのことについての説明が記載されていますし、これでいいと思いますが、「協働」及び「能力・行動力」について検討していただきたいと思います。また「行政だけでなく学校・家庭・地域が連携・協力しながら」「社会全体で」「地域ぐるみで」と同じような表現が何回も出てくるので、まとめた方がよいのではないのでしょうか。「地域と共にある学校づくり」と「学校のあり方や政策決定に地域住民の意向を十分に反映させる」についても同様にまとめた方がよいと思いました。もう一つ「児童生徒の自主的な学習のサポート」とはどのような事を考えているのでしょうか。

教育政策課長…学校教育の充実で「義務教育は」という文言から始めているのは、学校教育において市町が携わっているのは義務教育の部分であるため、もちろん文科省が提唱しております生きる力も大前提に考えております。また自主的な学習のサポートについては、教育に関わるすべての学習のサポートであり何かを特化しているわけではありません。

徳本委員…子どもの教育の第一義的責任は保護者が持つという意識が、当たり前すぎて誰も言わずに薄れてしまって、いつの間にかしてもらって当たり前だという雰囲気があるので、どこかでその事を明記してもらえたらと思いました。自主的な学習のサポートについても、学校で指導するだけでなく、家庭で保護者が見てあげることが大切です。

岸本委員…学校では授業をしているので、自主的な学習のサポートというと学校外の活動しか思い浮かばないのですが、図書館で勉強をするというのも自主的な学習ですかね。

徳本委員…図書館で勉強している人を見て、刺激を受けて勉強し始める子ども達もたくさんいると思います。全国的には図書館で勉強をする事が禁止されている所が多い中で、敦賀の図書館は受け入れてくれているのでいい事だと思います。

岸本委員…学校教育・社会教育・文化・スポーツの4つの分野がありますが、どの分野も子ども達と関わっていくべきだと思います。例えば、文化においては講師派遣や出前授業などを行い、子ども達の学習に関わっていく、また図書館においては子ども達に学習の場を提供するなどがあります。自主的な学習のサポートは、公民館などの学習に子ども達が参加したり、図書館などでの学習環境の場を整えるなどがあると思いますし、学校教育の充実では、無料の学習塾を開設するといった制度がないのであれば学力の向上を前面に出していかないと、その下の施策が生きてこないと思います。

市長…委員の皆様からご意見をいただきました、子ども達の教育の第一義的責任は保護者が持つという意識や、学力の向上は大綱に加えてもいいのかもしれませんが、義務教育というと、学校がやらなければいけない義務のように捉えられてしまっていますが、本当は子ども達の学習する権利や機会を守る教育形態だと思っていますので、そのような意味合いが含まれるといいのかもしれませんが。

岸本委員…「勉強して考える力」とありますが「自ら学び考える力」にしてはいかがでしょう

か。自ら学び、自ら判断し、自ら表現する力が、生きる力・確かな学力につながるのではないかと思います。

教 育 長…「勉強して考える力」はリー・クアンユーの言葉から引用しました。確かな学力と勉強して考える力を天秤にかけるわけではないですが、どちらが市民の皆様に伝わりやすいかということ踏まえこの言葉を選び記載しました。

徳本委員…そういったエピソードがあると読みやすいと思いましたし、いきいきした感じがしました。

岸本委員…教育振興基本計画について、具体的な数値目標を立てるのは非常に難しいですが、数値目標を立てなければ毎年同じ結果になってしまうのではないのでしょうか。どのように評価・チェックし、改善していくのかということが一番大事ですので、実現できそうな目標で構わないと思いますし、数値化できなくても問題となっている課題を把握して5年間で出来る事は何かを考え、それを目標にして達成感を得る事が大事です。方向性がしっかりと決まっていれば、達成するための努力がより一層具体的になってくると思います。

教育政策課長…数値目標ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条で定められている、教育委員会の事務事業評価の中で毎年見直しをかけながら設定していますので、そこに反映させていきたいと思います。

市 長…教育振興基本計画の他に事務事業評価があり、その中で数値目標を立てていくということですね。

徳本委員…意欲こそが大事だと思います。数値化するのも大事ですが、数字だけが独り歩きしてしまうこともあるので、数値化するものとそうでないものの二本立てにする方がいいと思います。

市 長…教育振興基本計画について他にご意見があればお願いいたします。

岸本委員…社会教育の中で、子ども達との関わりを盛り込む事が可能であれば入れていただきたいと思いました。県の大綱にもありますし、そういう事項があってもいいかと思えます。文化振興では、敦賀にある文化財等を入れ込んだ、時代の背景と一緒に見ていける歴史年表があると、非常に分かりやすいですし興味を持てると思います。観光にも勉強にも使えるのではないのでしょうか。

徳本委員…日本海地誌の冊子にはそういった事が細かく書いてありました。

文化振興課長…文化課分室には、発掘した土器や大きな年表がありますが、持ち運び出来て見やすいパンフレットなども作成していけたらと思っています。

神谷委員…そういったものを大人だけでなく、子ども達が手分けして作成するのもいいですね。

徳本委員…市民ギャラリーの開催や団体等の文化活動の支援とは、どのような支援でしょうか。

文化振興課長…文化協会などの団体に市から補助をしております。また市民ホールなど展示の場を提供しております。

岸本委員…文化協会の会員が、高齢化・固定化して広がりがないと悩んでおられたのですが、

そこには手は差し伸べられないのでしょうか。団体を紹介するなど広報はしているのでしょうか。

文化振興課長…会合などで、会員の募集について話をしていますし、市民文化祭や市総合美術展などでは広報誌等で紹介しています。

岸本委員…皆さんが知らない団体もあると思いますので、広報するといいですね。

市長…その他協議事項がありましたらお願いいたします。

徳本委員…ご自身の思いなど、何かテーマを投げかけていただけますでしょうか。

市長…公民館のコミュニティ化など、市民の皆さんが主体となって様々な事を提案し、それを行政が応援していくというような形になるといいですね。子ども達からご高齢の方まで、学童保育や介護などを地域の仲間ですることによって活性化につながり、優しい気持ちや知恵を学ぶことができ教育にもいいのではないかと考えています。行政が生きがいつくりの手助けをするのも一つの方向性だと思っていますし、元気な市民が一人でも増えたらと思っています。

岸本委員…是非そのような考えを進めていただきたいと思います。

市長…第3回総合教育会議を閉会いたします。